地域医療について

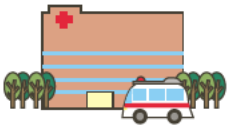
救急医療の機能分化を

末松 則子 議員
（未来塾／鈴鹿市選出）

問 休日、夜間を問わず二十四時間体制で診てもらえる基幹病院の小児科への受診が集中しています。統計では、救急患者の約半数が小児科の患者で、そのうち七割は緊急性を伴うものでなく、近所の開業医などで対応できる症状であるとされています。

県では「医療ネットみえ」の運用を開始しましたが、子どもが発熱したときのような場合にどれだけの人が利用できるか疑問です。他県では、覚えやすい電話番号で子どもの症状に応じて対応してくれるホットラインが運用されています。

一次（初期）・二次救急医療の機能分化について、現在の取組状況をお聞かせください。



答 診療所が担う初期医療と病院が担う二次医療の機能分化については重要な課題であり、日祝日の救急患者に対する地域の開業医と病院の連携や病院の隣接地での休日夜間応急診療所の整備など、地域の実情に応じた新しい体制が構築されつつあります。

また、県民の皆さんへの情報提供の充実を図るため、病名や専門医の有無など様々な条件で検索を可能にし、より使いやすいものとした「医療ネットみえ」の運用を開始しました。

今後とも、機能分化に向けた施策を推進してまいります。

● その他の質問事項
○ インターネットを通した県民参画の今後の展開について　他

メディカルバレー構想の課題について

薬学部設置への支援を

田中 博 議員
（新政みえ／鈴鹿市選出）

問 本県のメディカルバレー構想を進めるうえで、薬系人材が確保しにくい第一の理由に、県内に薬科系大学がないことが挙げられています。

そのようななか、学校法人鈴鹿医療科学大学において薬学部及び専門職大学院の設置が検討されています。これらに対する県の財政的支援についてお聞きします。

また、研究施設等の設置については、現行の補助制度では対象外となっていますが、メディカルバレー構想を進めるうえで前向きに検討するに値すると考えますが、現在の検討状況をお聞きします。

答 学部の新設を含む私立大学が設置される場合には、これまで地元自治体との連携のもとで一定の補助を行ってきたところですが、社会情勢の変化や県の厳しい財政状況のなか、県への波及効果、大学の経営の健全性及び地元の対応等を総合的に勘案して、検討してまいりたいと考えています。

また、バレー構想に関連した新たな補助金等の財政支援については困難と考えますが、設置計画などの進捗に応じ、県内大学や医療機関、企業との共同研究や教育連携などについて支援を行っていきたいと考えています。

● その他の質問事項
○ 県内産業、経済の活性化について　他

農水商工部の組織再編について

農林水産環境部の設置を

岩田 隆嘉 議員
（自民・無所属・公明議員団／旧阿山郡・旧名賀郡選出）

問 すべての産業を同じ部局で一元化して取り組むことには、無理があると思います。

農水商工部から商工部門を切り離し労働と一体化させるのが、無理の無い組織と考えますがいかがでしょうか。

また、農水部門は林業と一体化することが、自然ではないでしょうか。農業も林業も、防災や環境など多面的な機能を持っています。森林は環境と密接な関係があり、環境部の中で所管しなければならないとするならば、農林水産環境部ではいかがでしょうか。

知事のご所見をお伺いします。

答 現在の農水商工部では、産業間の相互連携による総合的な産業政策の展開を図っており、現時点で切り離すことは適切でないと考えています。

また、県の雇用行政は、生活部において、産業振興を所管する農水商工部などと連携しながら推進していきたいと考えます。

林業は、産業として成り立つには非常に厳しい状況です。森林整備、林業振興は、産業振興の視点よりも、公益的機能の視点に軸足を置いた施策の展開を図っていく必要があると考えます。

● その他の質問事項
○ 二年半が過ぎた野呂県政について　他

市町村合併について

さらなる県の支援を

大野 秀郎 議員
（新政みえ／多気郡選出）

問 県内の多くの市町村は合併を間近に控えており、住民は新しい市町の名称などの合併の基本事項は認識しています。しかし、合併後の自分達の生活や地域の姿については、抽象的な「市町村建設計画」の説明だけで、住民の多くは深い理解と認識を持っていないように思います。

合併後の住民の生活及び地域の姿、国や県と市町が果たすべき役割、それを支える財政支援も含め、きめ細かく住民に示し、新しい市町の建設計画と県が目指す地域づくりの実現への理解と認識を深める必要があると考えます。

住民の市町村合併への認識の現状と今後の課題や支援についてお伺いします。

答 合併を前向きに考える意見、不安や不満の意見も本音でトーク等に寄せられています。合併による新しいまちづくりが住民の参加の下で、円滑に進められるよう期待しています。

合併市町においては、建設計画で示した地域の将来像を実現するために、住民とともに主体的に取り組んでおり、その内容は多くの方々のご理解を得ていると考えますが、わかりやすくする工夫や取組は、重要なことと認識しています。

また、地域づくりに積極的に取り組む市町へは、しっかり支援していきたいと考えます。

合併協議会の様子

● その他の質問事項
○ 台風災害復旧の現状と見通しについて　他